

## だからこそ、みんなで知りたい「町立学校 教育の今」

### 町立学校教育座談会

#### 授業はどう変わった？学校はどう変わった？（前編）

町立小・中学校では「子どもが主語の学び」を推進し、かつての一斉授業から、子どもが考え、話し合い、学び合う授業へ変化しています。7月に行われた、町立学校の教職員による座談会の様子を紹介します。

#### 「学びのコントローラーは、子どもと共有するものへ」

「私が中学生の時（約30年前）は、典型的な一斉授業で、とにかく座って、前を向いて静かに1時間聞く。それが6時間あるというのが基本でした。でも今は「学び合い」や「班活動」など、子ども主体の学びが確実に増えていると思います。」

「“学びのコントローラーを渡す・共有する”という表現、とても分かりやすいと思います。今はそれを教師が意識して子どもに渡してると感じます。」

学びは「先生が教えるもの」から「子どもが自ら学びとるもの」へ、その中で教師は子どもの良き伴走者として関わる。その変化を実感できる言葉（学びのコントローラーを子どもと共有など）がたくさん出てきました。

#### 「百問テスト」から「1問を解く過程」へ

「私が小学生の時（約30年前）は、百問テストで百個丸がついたら良しとされていました。しかし今は、一問でもいいんです。その一問の答えを出すための過程に、重きを置いている。」「解き方をどうしたかが大事なんだというのは、とても変わったと思います。」

勉強の「量」ではなく「質」を見て、思考の道筋を大切に学ぶへと、学校も大きく転換してきています。

#### 「個別最適な学び」と「協働的な学び」

#### ～ICTで広がる学び、問われる“使い方の工夫”～

学習指導要領では、個別最適な学び（一人ひとりに合っ

た学び）と協働的な学び（みんなと一緒に深める学び）の両方を大切にすることが求められています。つまり、自分のペースや自分にあったやり方で進める学びと、自分の考えを友だちと関わりながら深める学びの、どちらも大事にする授業づくりがめざされています。この2つの学びをつなげ、助けてくれるのが、タブレット機器の活用です。

#### ICTを上手に使うことで、こんな学びが実現しています

- ①子どもが自分の興味に合わせて調べたり、まとめたり、発表できる
- ②自分に合った方法で学んだり、好きな表現で考えを伝える
- ③クラスの友だちとスライドや動画を見せ合いながら、意見を出し合い、話し合いを深めることができる

### 太子町教育フォーラム

#### -実践と交流から学ぶ授業でも伸ばす非認知能力-

町立学校園での取り組みや、授業づくりについて皆さんと一緒に考える機会です。（事前申込制）

【とき】9月12日（金）午後3時～

【ところ】町立中学校

【内容】①町立学校園の取り組み発表  
②授業で伸ばす非認知能力について

【講師】中山 芳一 氏

申込方法など詳しくは、下記二次元コードからご確認ください。

詳しくは、こちらから▶



◆問合せ 教育総務課 ☎98-5533

## 非認知能力でつなぐ大人と子ども vol.3

### 「きっとできる」その気持ちが、未来をひらく

#### 自己効力感が子どもにくれるチカラ

「また失敗しちゃった……」そんなとき、子どもにどんな言葉をかけますか？

非認知能力のひとつ、自己効力感とは「自分にはできるかもしれない」と思える気持ちのことです。これは、挑戦する力、あきらめない心、そして“やってみよう”と一歩踏み出す原動力になります。

6月8日（日）に行われたセミナーでは、この「自己効力感」を育むためのヒントがたくさん紹介されました。

例えば、子どもがうまくできなかったとき「なんでできないの？」ではなく「よくチャレンジしたね」「もう一回やってみようか」と声をかける。すると、子どもは“できなかった”自分ではなく“挑戦した”自分に目を向けられるようになります。

セミナーでは、自己効力感を育てる関わりとして、“叱り方”の工夫も紹介されました。

#### 「叱り方のプロになる 4つのルール」

- ・**ダメを飲み込む**  
「ダメ！」と反射的に言わず、まず一呼吸おいて状況を受けとめる。
- ・**行為と人格を分ける**  
「あなたはダメな子」ではなく、「この行動は困る」と行動に焦点を当てる。
- ・**理由を説明する**  
「なんでダメなのか？」を丁寧に言葉で伝える。

#### ・“できる未来”を描く

「どうすればよかったと思う？」「次はこうしてみようか」と前向きな選択肢を示す。

「叱ることは、子どもをコントロールするためではなく、“信じている”ことを伝える機会です」叱りながらも、「あなたにはできる力がある」と伝え、子どもの中に「やってみよう」という気持ちが育ちます。

日々の中で、小さな挑戦や努力に気づき、「できたね」「がんばったね」と声をかける。それが、自己効力感をはぐくむ一歩になります。

### 第2回子どもとの関わり方セミナー

【とき】9月14日（日）午前10時

【ところ】町立万葉ホール

【参加費】無料

【申込】不要。ただし、託児を希望される人は、下記二次元コードからお申込みください。

託児のお申込みは、こちらから▶



非認知能力セミナーの動画を町ホームページで公開しています。ぜひ、ご視聴ください。  
視聴は、こちらから▶

◆問合せ 生涯学習課 ☎98-5534

